

令和元年度 第1回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

令和元年5月20日（月）

13：30～15：00

大垣市役所3階 合同委員会室

出席者：19名 欠席者：8名

- 1 福祉部長あいさつ
- 2 令和元年度各部会の年間計画について（部会長）  
→別紙資料1による
- 3 障害者就労施設等からの物品等の調達について（事務局）  
→別紙資料2による
- 4 平成30年度合理的配慮事例の報告について（事務局）  
→別紙資料3による
- 5 第四次障害者計画及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画のアンケートについて（事務局）  
→別紙資料4による

<障害者就労施設等からの物品等の調達について>

・たくさんの施設や企業が関わるとよい。事業所数の実績はどれだけあるのか。

→ 7事業所から物品、役務を含めて調達している。

<平成30年度合理的配慮事例の報告について>

・報告に知的障がい者への配慮事例がないのはなぜか。窓口で知的障がい者である本人と家族が来所した場合、本人のことであるにも関わらず、本人不在のように家族にのみ説明してしまうことがある。知的障がい者に対してふさわしくない対応と思われる。そうした点も含めて合理的配慮に心がけて欲しい。

→ 配慮事例がないのは各課から受けた報告であり、例えば障がい福祉課等では配慮が当たり前のようになっている場合は計上されないため。ご意見を参考にしながら合理的配慮に努めたい。

＜第四次障害者計画及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画のアンケートについて＞

・障がい児へのアンケート実施に関しては、手帳所持していない児が多いため、障がい児という名称への配慮を十分して欲しい。

・障害者手帳の比率はどのようになっているのか。また、身体障がい者手帳のなかの視覚障がい・聴覚障がいの割合はどのようになっているのか。

→ 各障害者手帳の所持者の2割程度にアンケートを送付する予定。障がいの種別をどのように分けていくか、出し方を今後検討したい。